日時 10月19日(土)午後1時~5時会場 渋谷区立消費者センター 2階大研修室

今年6月6日~7日に行われた、NO2いっせい測定 (第94回)の結果を報告して、みなさんと交流します。 10月5日の予定でしたが、会場の都合で10月19日になりました。 100人以上が入れる広さで間隔がとれるようになっています。 今回のいっせい測定では雨のない天候で、全都的にはかなり きれいな結果でしたが、皆さんのところの結果はいかがでしたか。 地域や団体の取り組みなどの経験を交流し、気候危機や 再開発による環境破壊、公害被害者の取り組みなどについて 討論したいと思います。

☆東京全体のいっせい測定結果のまとめの報告。 ☆地域・団体での取り組みの発表と交流

特別報告:公害責任裁定 年内終結 助成制度を!!

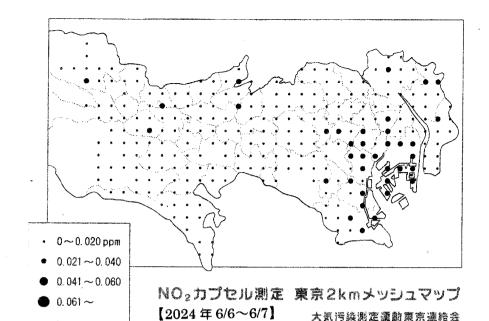
- ●環境教育や学習会を通じての測定の普及など
- ・大型開発や道路建設などの現状と反対運動
- ・地球温暖化の問題と自然エネルギーの普及
- その他小さな取り組みでもかまいません。地域・団体の経験を交流しましょう。

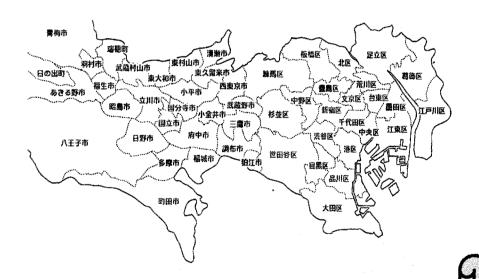




主催: 大気汚染測定運動東京連絡会 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-3 問合せ先 TEL/FAX 03-3358-8489 サニーシティ新宿御苑 10 階 E メール taikisokutei@nifty.com

ホ-ΔΛ°-У http://taikisokutei03.o.oo7.jp/index.html





次回(第95回)のいっせい測定日は 2024年12月5日(木)~12月6日(金)

日本各地に毎日続く猛暑と豪雨の被害!!

猛暑や豪雨の被害は、日本だけでなく世界各地も襲っています。 昨年の6月測定では、台風2号が接近し、梅雨前線が大雨を降らせました。国連事務総長が昨夏「地球沸騰化の時代」と警告した気候危機は、今年6月5日の環境の日の演説で大幅な対策強化、化石燃料からクリーンエネルギーに資金を振り向けること、化石燃料の広告禁止を求めました。政治家指導者には、対策をする人々と、汚染者・利益至上主義者とのどちらの味方をするのか、決める時だと迫りました。気候危機を回避するためにも2035年の日本の省エネと再エネ電力比率60%以上によるCO2排出72%削減、2050年排出ゼロに向けた対策と2030年に石炭火力と原発ゼロを企業・自治体・NGOが求めています。声を上げましょう。

公害等調整委員会から責任裁定の年内終結と発言

全国大気汚染公害責任裁定は、9月26日に第9回審問が行われます。第8回で年内最後の12月19日で審理を終結し、判断に力を尽くしたいとの意向が示されました。申請人から国とメーカーに費用を負担させて医療費助成制度の創設が目標であり、結審した上での方向で試みの希望を述べました。メーカー、国に対して裁定の審理を踏まえた医療費助成制度の創設を迫る運動を強めるとともに、公害等調整委員会に対しても強い思いを伝えていく取り組みが必要となっています。ご支援ご協力をお願いします。

東京の報告集会で今回の測定結果報告集を発行します。

集会に参加できない方も、ぜひお申し込みください。

団体・地域の活動の原稿を9月12日迄にお寄せ下さい。(1~4頁)

- ☆ 1冊 500円 (集会では資料代に含みます)☆ B5版 約60ページ
- ☆ 測定結果一覧、詳細データの関連資料、地域・団体からの寄稿など。
- ◆ 申し込み→裏面の住所、メール、TEL・FAXにてお願いします。